

2015年農林業センサス三重県結果概要

1 農林業経営体

～農林業経営体数は21.9%減少(26,864経営体)～

平成27年2月1日現在の三重県の農林業経営体数は26,864経営体で、5年前の前回に比べ7,550経営体(21.9%)減少しました。

このうち、農業経営体数は26,423経営体で前回に比べ7,178経営体(21.4%)減少しました。林業経営体数は1,350経営体で、前回に比べ782経営体(36.7%)減少しました。

表-1 農林業経営体数

単位：経営体

区分	農林業 経営体	農業 経営体	林業 経営体
H27年	26,864	26,423	1,350
H22年	34,414	33,601	2,132
増減数			
H27年-H22年	△ 7,550	△ 7,178	△ 782
増減率(%)			
H27年/H22年	△ 21.9	△ 21.4	△ 36.7

2 農業経営体

(1) 組織形態別経営体数

～法人が増加し、非法人は減少～

農業経営体の組織形態別経営体数を5年前の前回と比べると、法人化していない経営体が減少している一方で、法人化している経営体が506経営体となり、129経営体(34.2%)増加しました。

表-2 法人数(農業経営体)

単位：経営体

区分	農業 経営体	法人	法人化し ていない
H27年	26,423	506	25,913
H22年	33,601	377	33,223
増減数			
H27年-H22年	△ 7,178	129	△ 7,310
増減率(%)			
H27年/H22年	△ 21.4	34.2	△ 22.0

(2) 経営耕地面積規模別経営体数

～5ha未満の農業経営体が減少し、5ha以上の農業経営体は増加～

農業経営体を経営耕地面積規模別に5年前の前回と比べると、5ha未満の農業経営体数が減少している一方で、5ha以上の農業経営体数が増加しており、10ha以上の階層では25.6%増加しました。

表-3 経営耕地面積規模別経営体数（農業経営体）

単位：経営体

区分	1ha未満	1～3ha	3～5ha	5～10ha	10ha以上
H27年	16,126	8,373	892	517	515
H22年	20,907	10,827	952	505	410
増減数 H27年-H22年	△ 4,781	△ 2,454	△ 60	12	105
増減率(%) H27年/H22年	△ 22.9	△ 22.7	△ 6.3	2.4	25.6
構成比(%) H27年	61.0	31.7	3.4	2.0	1.9

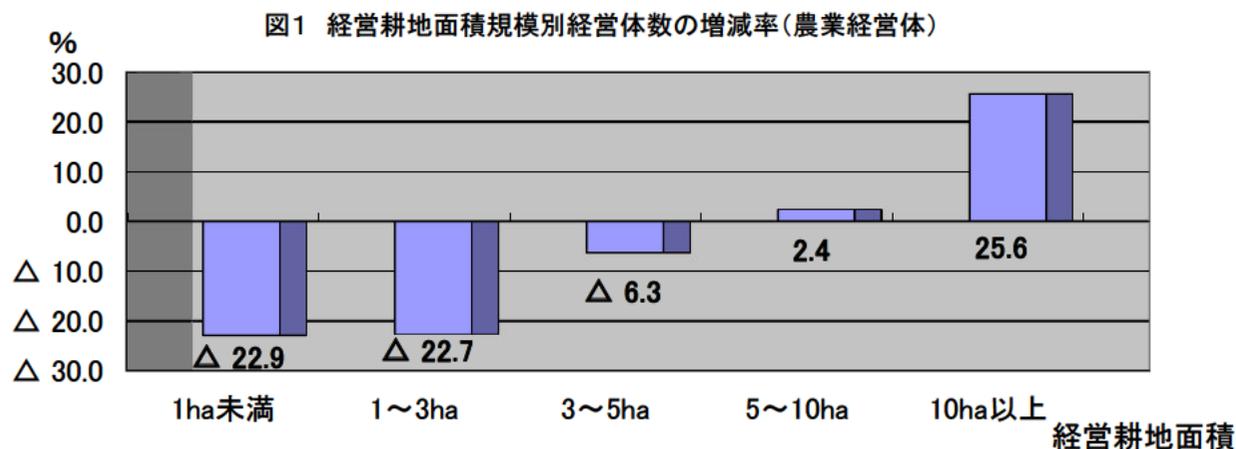
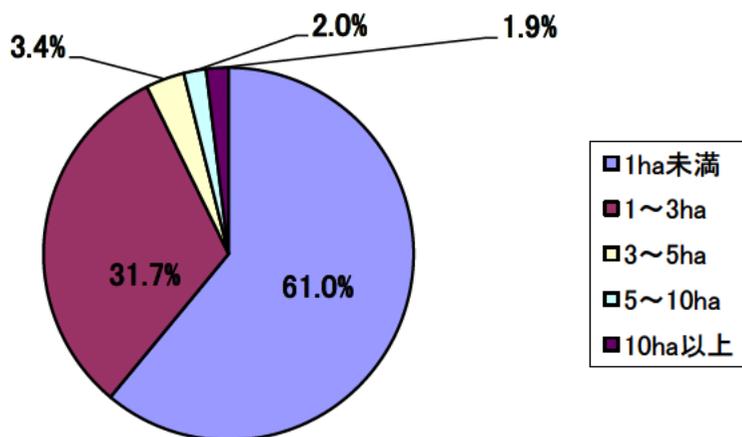


図2 経営耕地面積規模別経営体数の構成比（農業経営体）



(3) 農産物販売金額規模別経営体数
 ～農産物販売金額1億円以上の階層のみが増加し、その他は減少～

農業経営体を農産物販売金額規模別に5年前の前回と比べると、1億円以上の階層のみが17.3%増加していますが、その他の階層はすべて減少しました。

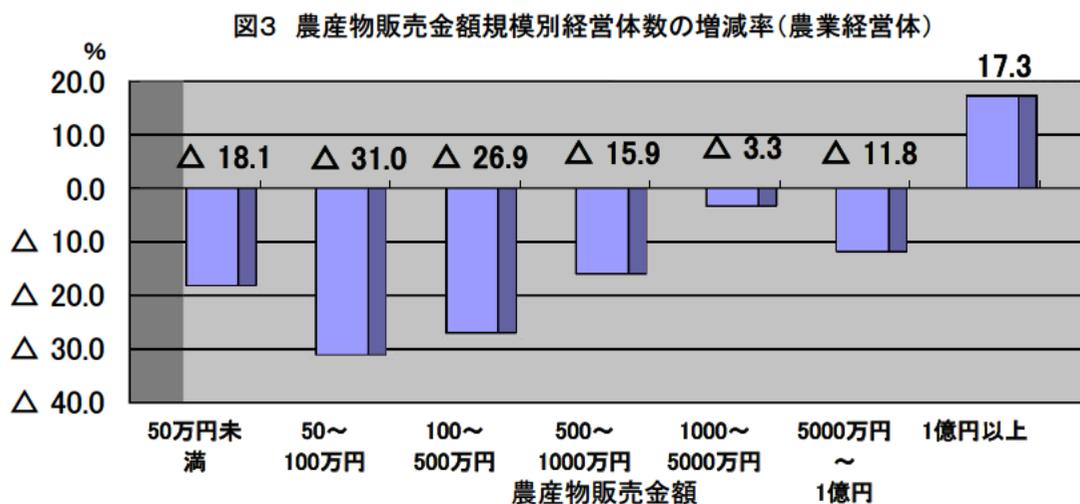
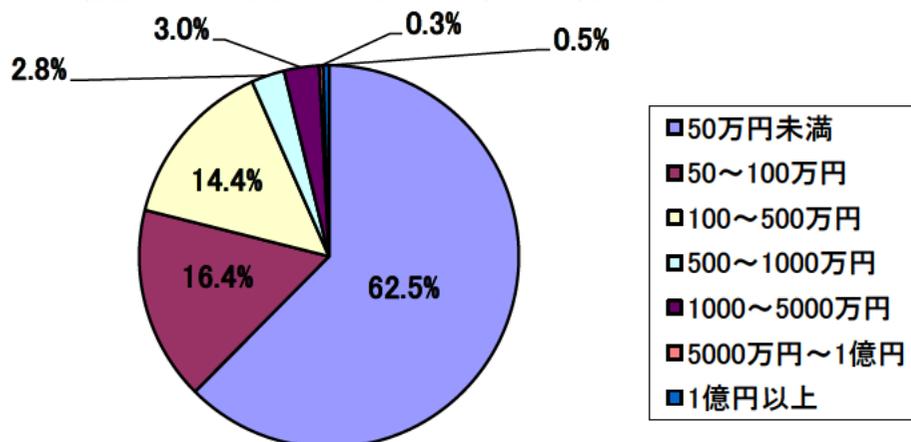


図4 農産物販売金額規模別経営体数の構成比(農業経営体)



(4) 経営耕地面積・借入耕地面積
 ～経営耕地面積は減少し、借入耕地面積は増加～

農業経営体の経営耕地面積は42,504haで5年前の前回に比べ6.0%減少しました。耕地種類別にみると、前回に比べ、田が4.1%、畑が11.0%、樹園地が19.4%減少しました。

農業経営体の借入耕地面積は19,307haで5年前の前回に比べ17.0%増加しました。

表-4 経営耕地面積・借入耕地面積の状況(農業経営体)

単位: ha

区分	経営耕地総面積	田の面積	畑の面積	樹園地の面積	借入耕地面積
H27年	42,504	35,784	3,653	3,067	19,307
H22年	45,213	37,302	4,106	3,806	16,503
増減数 H27年-H22年	△ 2,709	△ 1,518	△ 453	△ 739	2,804
増減率(%) H27年/H22年	△ 6.0	△ 4.1	△ 11.0	△ 19.4	17.0

3 販売農家

(1) 主副業別農家数

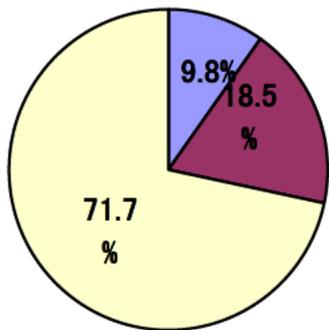
～主業農家、準主業農家、副業的農家ともに減少～

販売農家の総数は、25,696戸で5年前の前回に比べて7,269戸(22.1%)減少しました。

販売農家を主副業別にみると、主業農家は2,520戸で、5年前の前回に比べ698戸、準主業農家は4,763戸で前回に比べ3,034戸、副業的農家は18,413戸で前回に比べ3,537戸、それぞれ減少しました。

農業従事日数60日以上、65歳未満の世帯員がいない農家である副業的農家の構成割合が全体の約7割を占めています。

図5 主副業別農家数構成比(販売農家)



■主業農家 ■準主業農家
□副業的農家

表-5 主副業別農家数(販売農家)

単位:戸

区分	販売農家	主業農家	準主業農家	副業的農家
H27年	25,696	2,520	4,763	18,413
H22年	32,965	3,218	7,797	21,950
増減数 H27年-H22年	△ 7,269	△ 698	△ 3,034	△ 3,537
増減率(%) H27年/H22年	△ 22.1	△ 21.7	△ 38.9	△ 16.1
構成比(%) H27年	100.0	9.8	18.5	71.7

- ・主業農家 : 農業所得が主(農家所得の50%以上が農業所得)で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいう。
- ・準主業農家 : 農外所得が主(農家所得の50%未満が農業所得)で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいう。
- ・副業的農家 : 調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない農家(主業農家及び準主業農家以外の農家)をいう。

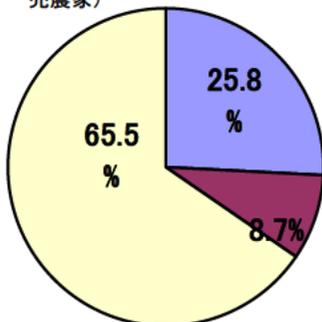
(2) 専兼業別農家数

～専業農家、専業農家ともに減少～

販売農家を専兼業別にみると、専業農家は6,633戸で、5年前の前回に比べ331戸、率にして4.8%減少しました。

兼業農家の内、第1種兼業農家は2,242戸で、前回に比べ306戸減少し、第2種兼業農家は16,821戸で、前回に比べ6,632戸減少しました。

図6 専兼業別農家数構成比(販売農家)



■専業農家 ■第1種兼業農家
□第2種兼業農家

表-6 専兼業別農家数(販売農家)

単位:戸

区分	販売農家	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家
H27年	25,696	6,633	2,242	16,821
H22年	32,965	6,964	2,548	23,453
増減数 H27年-H22年	△ 7,269	△ 331	△ 306	△ 6,632
増減率(%) H27年/H22年	△ 22.1	△ 4.8	△ 12.0	△ 28.3
構成比(%) H27年	100.0	25.8	8.7	65.5

- ・ 専業農家 : 世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家をいう。
- ・ 兼業農家 : 世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家をいう。
- ・ 第1種兼業農家 : 農業所得を主とする兼業農家をいう。
- ・ 第2種兼業農家 : 農業所得を従とする兼業農家をいう。

(3) 農業就業人口

～全年齢層が減少～

販売農家の農業就業をみると、5年間の前回に比べ8,621人、率にして20.2%減少しました。

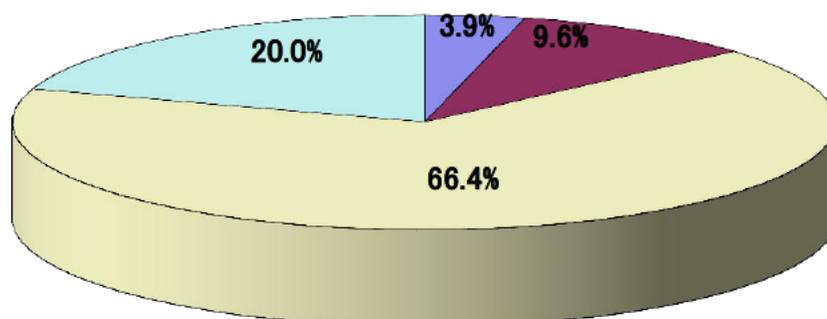
年齢別構成割合をみると、60～79歳層が全体の66.4%、60歳以上の農業就業人口が86.4%を占めています。

表-7 農業就業人口（販売農家）

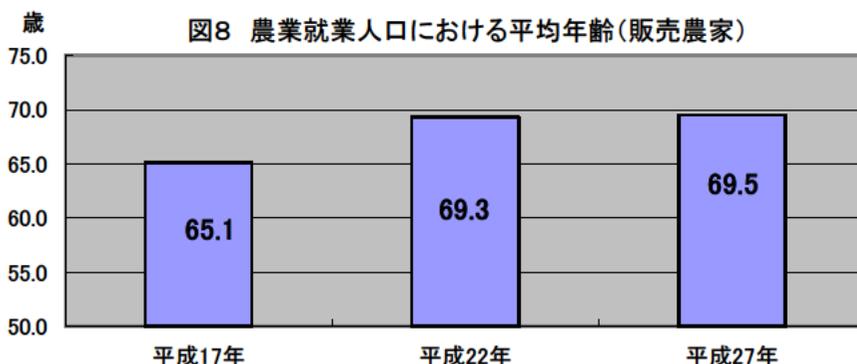
単位：人

区分	農業就業人口	年齢別			
		15～39歳	40～59歳	60～79歳	80歳以上
H27年	34,002	1,338	3,273	22,580	6,811
H22年	42,623	1,543	4,580	29,006	7,494
増減数 H27年-H22年	△ 8,621	△ 205	△ 1,307	△ 6,426	△ 683
増減率(%) H27年/H22年	△ 20.2	△ 13.3	△ 28.5	△ 22.2	△ 9.1
構成比(%) H27年	100.0	3.9	9.6	66.4	20.0

図7 農業就業人口の年齢別構成比（販売農家）



■ 15～39歳 ■ 40～59歳 □ 60～79歳 □ 80歳以上



4 耕作放棄地面積

(1) 総農家、土地持ち非農家の耕作放棄地 ～増加ペースが加速～

耕作放棄地については、7,603haで、5年前の前回と比較すると、5.3%増加しました。

図9 耕作放棄地面積の推移（総農家等）

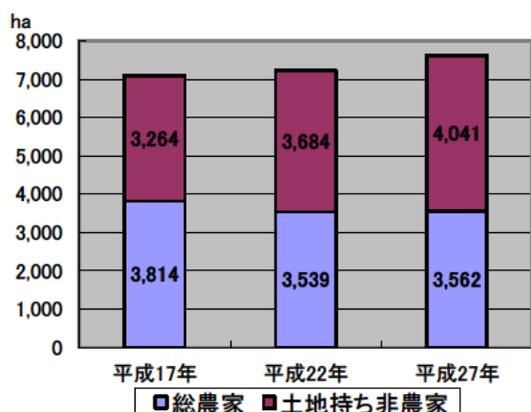


表-8 耕作放棄地面積（総農家等）

単位：ha

区分	耕作放棄 地面積	総農家	土地持ち 非農家
H27年	7,603	3,562	4,041
H22年	7,223	3,539	3,684
H17年	7,078	3,814	3,264
増減率(%) H27年/H22年	5.3	0.6	9.7
増減率(%) H22年/H17年	2.0	△ 7.2	12.9
構成比(%) H27年	100.0	46.8	53.2

- ・農家：調査期日現在で、経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても、調査期日前1年間における農産物販売金額が15万円以上あった世帯をいう。
なお、「農業を営む」とは、営利又は自家消費のために耕種、養畜、養蚕、又は自家生産の農産物を原料とする加工を行うことをいう。
- ・土地持ち非農家：農家以外で耕地及び耕作放棄地を5a以上所有している世帯をいう。

5 林業経営体

(1) 保有山林面積規模別経営体数

～すべての階層で減少～

林業経営体（1,350経営体）を保有山林面積規模別にみると、5ha未満層は421経営体、5～10ha層は367経営体、10～50ha層は413経営体、50ha以上層は149経営体となり、すべての階層で5年前の前回調査より減少しました。

表－9 保有山林面積規模別経営体数（林業経営体）

単位：経営体

区分	林業経営体	5ha未満	5～10ha	10～50ha	50ha以上
H27年	1,350	421	367	413	149
H22年	2,132	721	567	634	210
増減数 H27年-H22年	△ 782	△ 300	△ 200	△ 221	△ 61
増減率(%) H27年/H22年	△ 36.7	△ 41.6	△ 35.3	△ 34.9	△ 29.0
構成比(%) H27年	100.0	31.2	27.2	30.6	11.0

図10 保有山林面積規模別経営体数の推移（林業経営体）

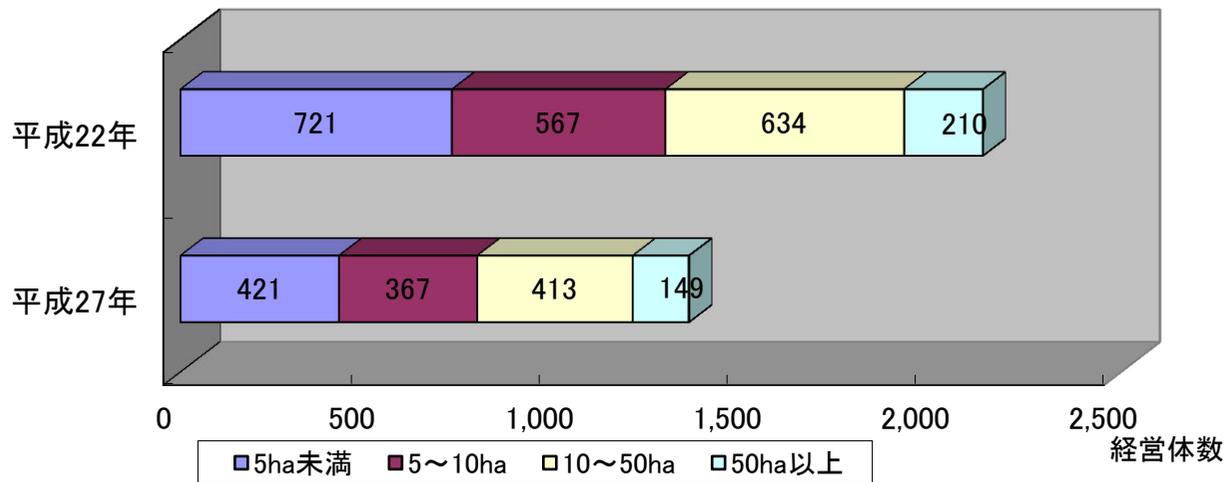


図11 保有山林面積規模別経営体数の構成比（林業経営体）

